

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

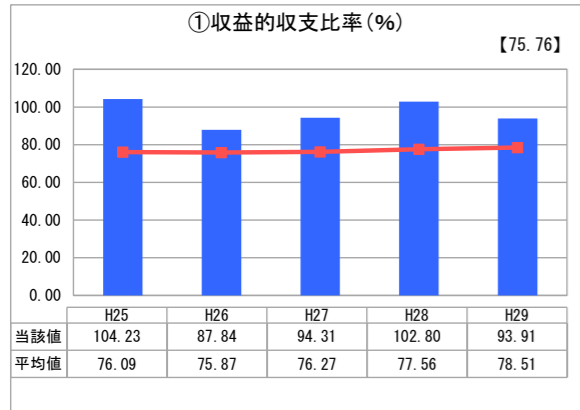
高知県 芸西村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	99.36	1,770	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,800	39.60	95.96
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,749	6.70	559.55

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[ ]	平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



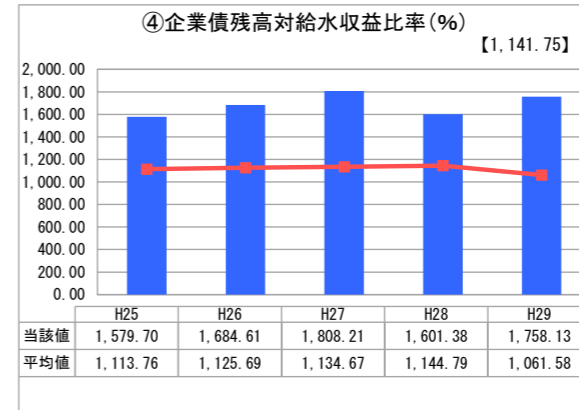
「単年度の収支」



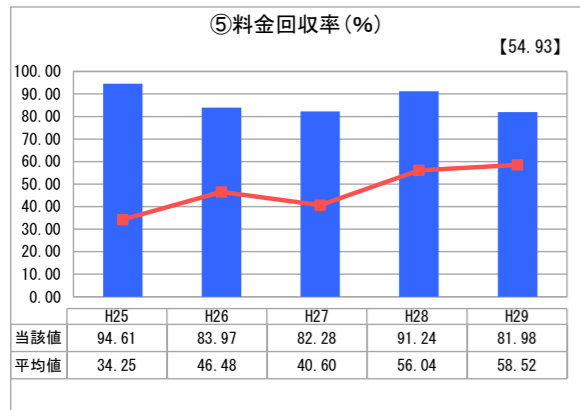
「累積欠損」



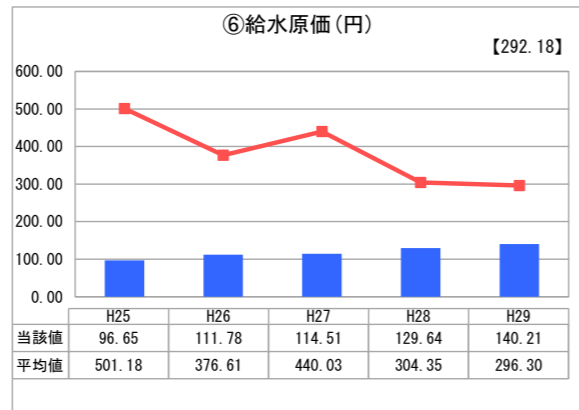
「支払能力」



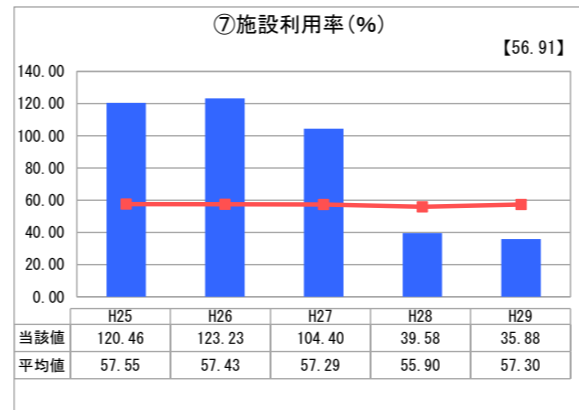
「債務残高」



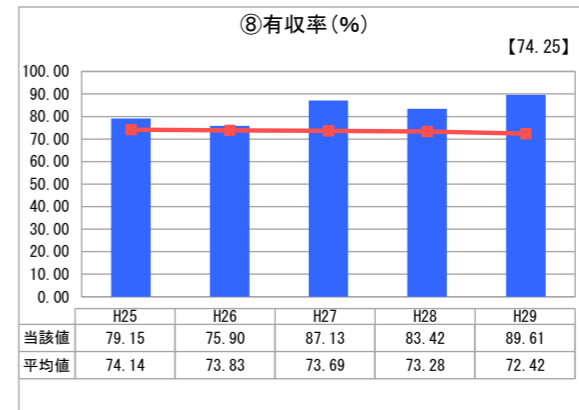
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



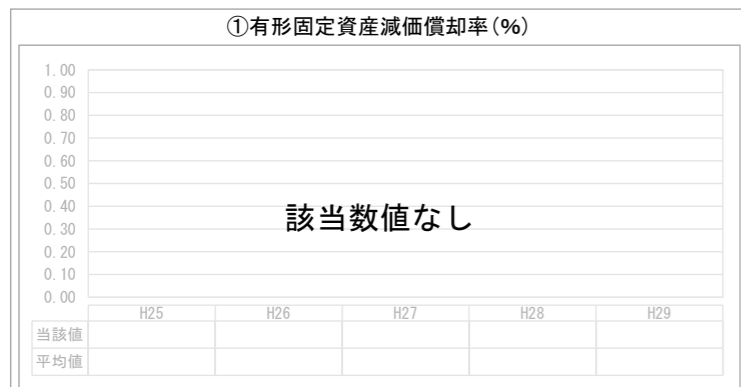
「供給した配水量の効率性」

## 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について  
 収益的収支比率はH28年度に料金改正を行い100%を上回ったが、H29年度は、地方債の増加および料金収入の減少により100%を下回っている。企業債残高対給水収益比率については、新規拡張工事及びダム建設が完了するまで増加する。料金回収率、給水原価については、平均より良好である。施設利用率については、施設拡張により、平均より下回っている。有収率については、平均より良好であるが、漏水箇所の特定や改修を行い改善していく必要がある。

2. 老朽化の状況について  
 施設の耐震診断をH26年度に実施した、その結果を基に、配水池3ヶ所のうち1ヶ所は建替、2ヶ所は劣化対策及び耐震補強工事を実施する予定である。取水施設はコンクリートが劣化しており、立替を実施する予定である。管渠については、下水道工事と同時に布設替えを実施しており、大部分が更新されている。残りの一部については、毎年度計画的に施工する予定である。

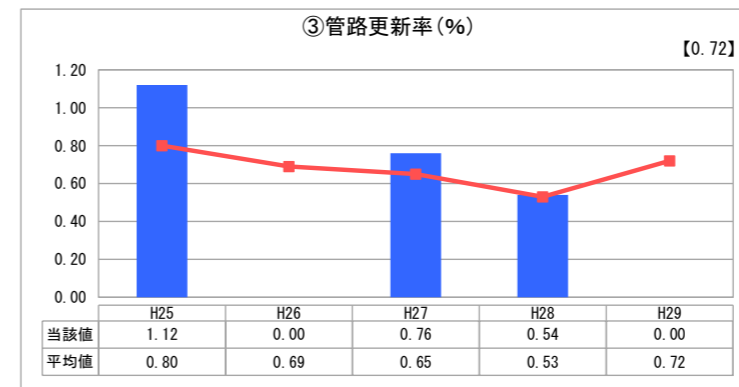
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 全体総括

新規拡張工事及び和食ダム建設負担金を単独事業実施しており、債務残高は増加傾向にある。今後は老朽管の更新及び配水施設の耐震補強工事を施工する必要がある。補助事業等を活用し、経費の削減に努めたい。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。